公益財団法人 九州先端科学技術研究所

Institute of Systems, Information Technologies and Nanotechnologies

BODIKユーティリティ BODIKエディタの開発

2025年11月22日

BODIKチーム 平野 真司

目次

- 1.BODIKの活動
 - a.~オープンデータの利活用推進~
- 2.オープンデータ公開作業時の課題
- 3.BODIKエディタの紹介
- 4.BODIKエディタのデモ
 - a.通常の編集機能デモ
 - b.スクリプトのデモ

誰でも簡単にオープンデータの利活用ができる社会を実現するために、データ公開から活用までを支援

会議の参加メンバーを九州の 都道府県に拡大、中核市や積 極的な自治体の参加も働きか ける。BODIK ODCSユーザ 一向けに、ノウハウを共有す るようなコミュニティの構築 も行う。

九州オープンデータ推進会議

自治体の オープンデータ担当



定期的なデータの整形

有償サービス

自治体向けの研修メニュー、 オープンデータサイト構築サ ービス、オープンデータ移行 サービスなど、自治体向けの サービスメニューを整備。

自治体支援サービス

全国の自治体の オープンデータサイトから データ収集

Harvesting

BODIK ODCS以外の オープンデータカタログサイト

BODIK ODCS

地方自治体がオープン データを公開するため のカタログサイトを無 償で提供。(CKAN) 2025年11月 339自治体

と登録の作業

BODIK Utility

自治体がオープンデータを 公開する時に役に立つ ツールを無償で提供する。

BODIK IoT

カメラの映像をAIで認 識し、個人が特定でき ない情報にして、オー プンデータとして公開 する。

BODIK ODM

全国の自治体のオープンデータが検索できる仕組みを実現する。 2025年11月 1,174自治体



Web

BODIK API

Location API、都市OS接続

WebAPI

BODIK ODGW

CKANからデータ基盤にデ

ータを登録、更新する。

用のAPIなど、用途に応じ

たAPIを整備する。

全国のオープンデータ化の情報 オープンデータのワンストップでの提供

■ オープンデータ検索



BODIK APPS

自治体向けのオープンデータ アプリの開発、運用を行う事 で、自治体のオープンデータ の取組みを促進する。





オープンデータ アプリケーション



スマートシティ実証

スマートシティ、Society5.0の実現を目指 し、福岡市、九州エリアの都道府県と連携 しながら、データプラットフォームの実証 プロジェクトに参画する。



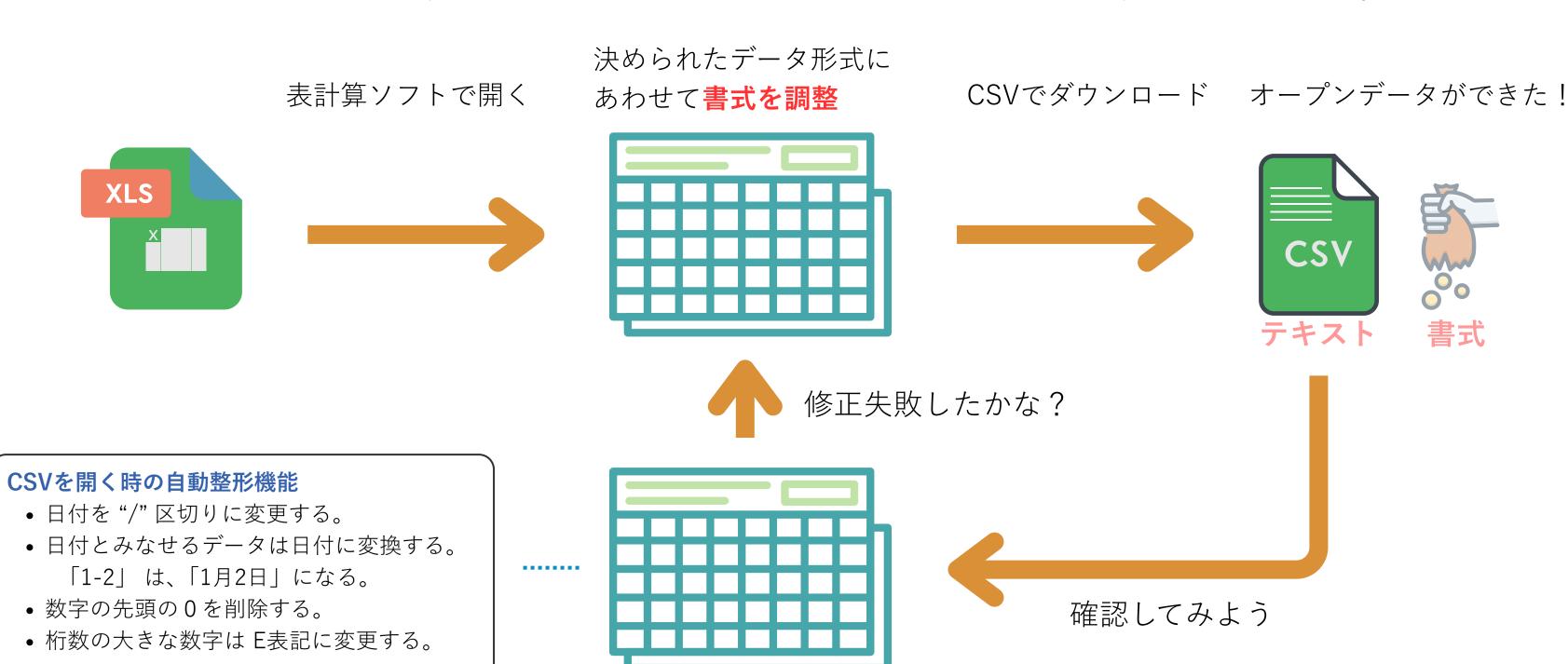
サービス







例:オープンデータ公開のため、手元にあるデータを表計算ソフトで修正し、CSVにしよう。

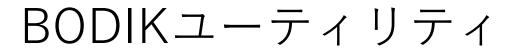


この機能は止められない。(難しい) テキストエディタを使う?

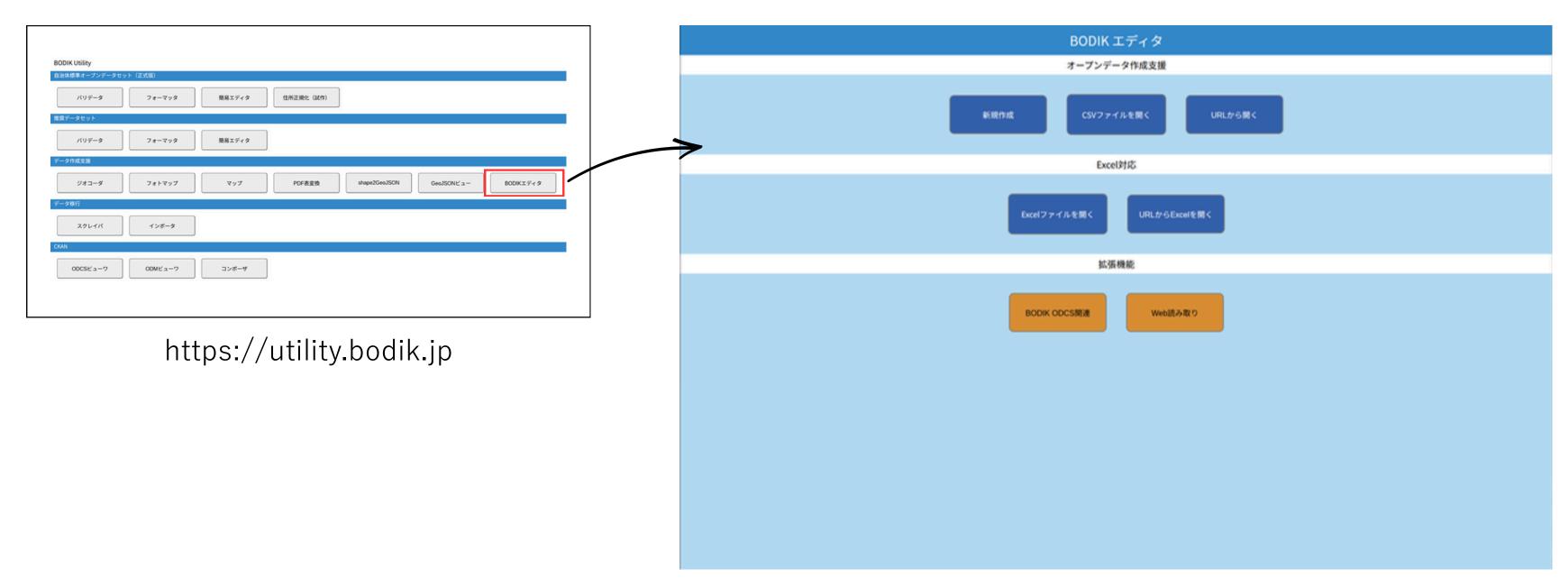
あれ?データの表示がおかしい!



オープンデータの編集に特化したエディタを開発しました。



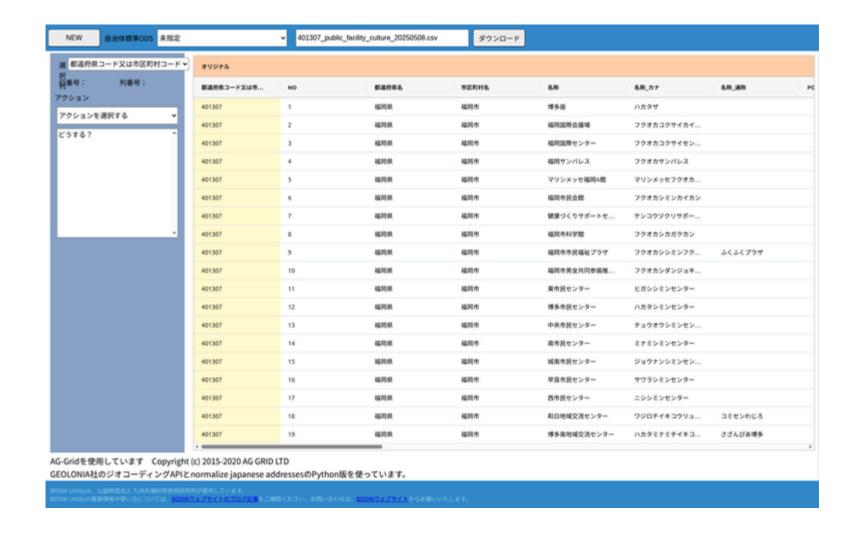




https://utility.bodik.jp/bodikeditor



BODIKエディタでCSVを加工する。



BODIKエディタのデモ

- 1.「推奨データセット」から「自治体標準ODS」に変換する。
- 2.抜けている項目を調整する。
 - a.データのコピー、結合
 - b.住所の正規化
 - c.住所から緯度経度に変換
- 3. ダウンロードする。
- 4. ダウンロードしたCSVをExcelで開いてみる。
- 5. ダウンロードしたCSVをBODIKエディタで開いてみる。

※福岡市の「公共施設」のオープンデータCSVをデモ用に一部修正して使用します。



BODIKエディタへの要求(主にBODIKチームから)

- 1つ1つ手作業で実行するのは技術者にはいいけど、一般の人には負荷が大きいのではないか?
- マクロみたいに自動実行できるといいなぁ・・・

いやいや、そんな簡単にマクロは組み込めんだろう??

ちょうどそんなとき・・・

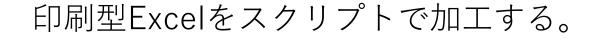
「大量の**印刷型Excel**を**データ型CSV**に変換する」という案件あり

- 普通ならば、Excelのマクロで変換するけど、新しいExcelが増えたら、そのたびにマクロを開発(=発注)するのか?
- BODIKエディタで加工できるけど、毎回手作業なのは大変。

ということで、どうすべきかをBODIKチームで検討開始。

• マクロは無理だけど、**単純な操作をスクリプト(コマンド)として記述して自動実行**ならば組み込めるのでは? というアイデアが出て、**BODIKエディタにスクリプト機能を実装(+ Excel対応**)することになった。





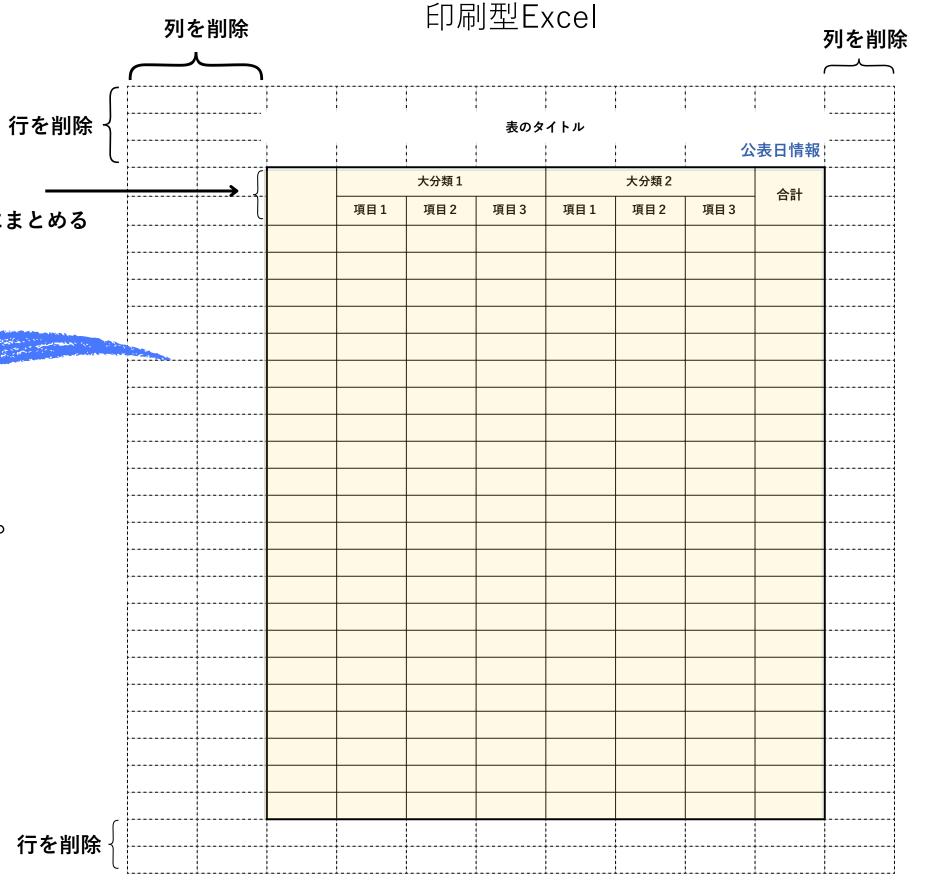
セル結合を解く -----複数行のヘッダーを1行にまとめる

基本スクリプト機能

- 列を削除する。
- 行を削除する。
- セル結合を解く。
- 複数行を1行にまとめる。
- 表にない列を追加し、データをセットする。

使用しているライブラリ(AG-Grid)の特徴

- ・1行のデータをJSON形式で持っている。
- ・無料版にはブロックコピー機能がない。





https://www.bodik.jp/manual/manual-bodikeditor-script/



Home	ブログ記事	BODIKについて	事業	サービス	BODIKコミュニティ	FAQ	お問い合わせ
機能説明							
列操作							
hide_col							
機能							
列を隠す。非表示に	する。						
記述							
hide_col <列番号>							
hide_col <開始列番号	号>:<終了列番号>						
説明							
指定した列を非表示 号を指定しない場合 例		記定するときは「開始列 表示にする。	番号:終了列番号	引で指定する。終	冬了列番		
スクリプト		処理内容	ş				
hide_col 0		列番号0	を非表示にする。				
hide_col 5:7		列番号5	から7を非表示にす	ి సి			
hide_col 16:		列番号1	6以降を非表示にす	- కె.			
show_all_col							



BODIKエディタでExcelを開き、スクリプトを記述し、実行する。



デジタル庁自治体標準オープンデータセット

https://www.digital.go.jp/resources/open_data/municipal-standard-data-set-test

デジタル庁の自治体標準オープンデータセット データ項目定義書A

https://www.digital.go.jp/assets/contents/node/basic_page/field_ref_resources/5345f63e-62aa-4ef5-b979-287b6f343e2a/0d6cbe5f/20250501_resources_open_data_municipal-standard-open-dataset_table_a.xlsx

BODIKエディタのスクリプトデモ

- 1.Excelを開き、スクリプト機能を選択する。
- 2.スクリプトを記述する。
 - a.不要な行と列を削除する。
 - b.ヘッダーをセットする。
 - c.JSONをダウンロードする

スクリプト

del_row 0:1

del_row 57:58

del_col 0

set_header

download_json public_facility.json

マクロよりも簡単!

ISIT

BODIKエディタの質問や機能追加案など、お待ちします。 #33 bodikエディタ



BODIKコミュニティ Slack

◎相互サポートの場

- 職員×シビックテック×企業
- ツールの使い方
- データ作成作業
- 推進計画作成
- 庁内推進
- イベント等なんでも相談

◎情報共有

- オープンデータ無料セミナー
- セミナー資料ダウンロード
- 利活用事例の共有
- 研修動画視聴
- ノウハウ共有
- セミナー、イベント紹介



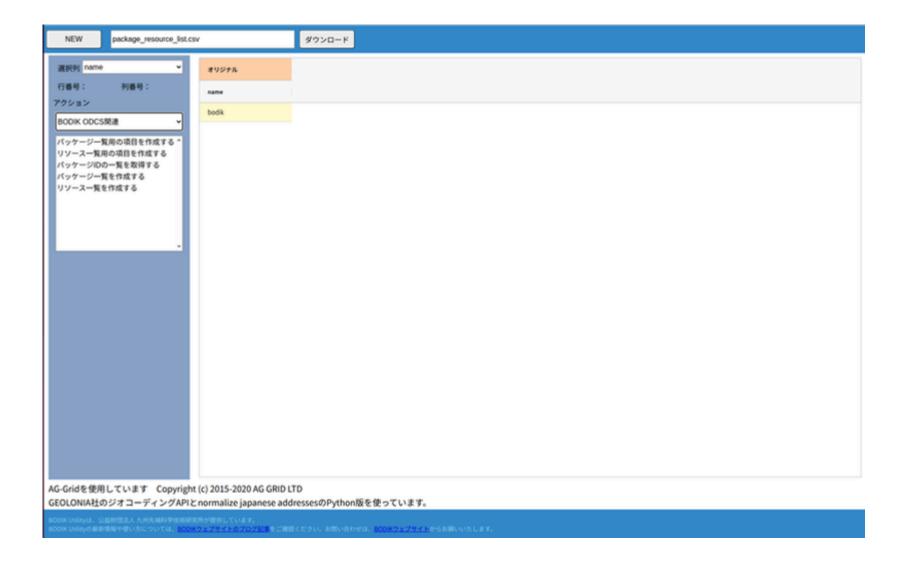


BODIKエディタのその他の機能

- BODIK ODCS関連
 - BODIK ODCSのデータセット情報、リソース情報を取り出す。
- Web読取り
 - ○スクリプト技術を使って、Webページから情報を取り出す



BODIKエディタ起動画面で「BODIK ODCS関連」ボタンを押す。



BODIK ODCSからパッケージ情報を取得する。

- 1.「アクション」で「BODIK ODCS関連」を選択する。
- 2. 「パッケージー覧用の項目を作成する」を選択する。
 - a.「実行」ボタンを押す。
- 3. 「**パッケージIDの一覧を取得する**」を選択する。
 - a. 自治体コードを入力し、「実行」ボタンを押す。
- 4. 「**パッケージー覧を作成する** | を選択する。
 - a.「実行」ボタンを押す。

指定した自治体のパッケージ一覧が表示される。

「metadata_modified」でソートすると、

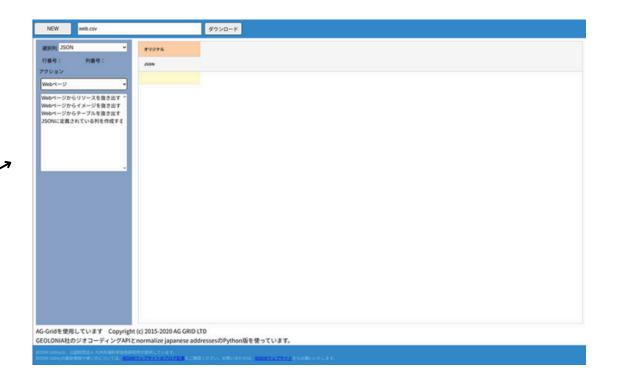
最近更新されたデータセットがわかる。



BODIKエディタ起動画面で「Web読み取り」ボタンを押す。

例:https://event.ospn.jp/osc2025-fukuoka/session/day1





Webページから **リソース情報** を取り出す。

- 1.「アクション」で「Webページ」を選択する。
- 2.「Webページからリソースを抜き出す」を選択する。
- 3.URLにWebページのURLを貼り付け、「実行」ボタンを押す。
- 4.JSON列をクリックし、「JSONに定義されている列を作成する」を実行する。